

令和 3 年 5 月 1 0 日

保護者 殿

さつま町立鶴田小学校
校 長 松久保 鉄也

町再編準備委員会における協議について（お知らせ・お願い）

4月27日（火）、町再編準備委員会が役場で開催されました。校長、柳田PTA会長、平野保護者代表、東・高下公民館長が出席しました。

この中で、協議されたことなどについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 委員長等の選出

委員長：松久保，副委員長：茶屋流水小学校長

2 第9回までの経過報告

それぞれの回での協議事項・決定事項の報告

3 校章について

校章制作者からの、制作意図の説明と質疑応答

4 校章決定に向けて

前回、保護者の方には背景についてご意見をいただきました。協議会の意見を踏まえ、制作者が背景を右下のように修正してあります。

- ① 背景は美しい紫尾山の稜線をそのまま生かしました。
- ② 流水小、鶴田小共に、現校章は大きく翼を広げたイメージがあるので、これを生かしました。
- ③ 流水の名前を形に残したいと思い、伝統的な文様である「流水紋」をシンプルにしてあしらい、併せて川内川の豊かな水の流れを表現しました。



今回は、校名の入れ方についてご意見をいただきます。候補は、右のA・Bの2案です。

A案：制作者が推薦している案

B案：第9回の再編準備委員会で推薦された案
（校名がわかりやすい）



A案



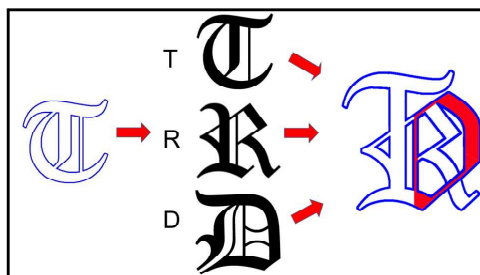
B案

裏面に、制作者の意図・提案を掲載

- ① 背景に、鶴田小の「TURUDA」から「T」「R」「D」を抜き取り、これをデザイン化して組み合わせたロゴを配置（右図）

- ② ロゴ化した意図は以下2つ

- 「子どもの安全を守る」という意図。現代社会は個人情報を守ることも大切。ロゴにすることで、鶴田小児童と簡単に特定できない。
- 子どもたちに考える機会を与えたい、学びの場を校章にも付与したい。「このロゴは、何を意味しているんだろう」とわくわくしながら、家族間・子ども同士で語り合うきっかけになる。



校章と校名の組み合わせや封筒の校名欄等についても、以下のように提案しています。



これらを踏まえ、本校の方向性を決定するために、6月9日（水）のPTAの際に、保護者の方の意見をいただきますので、よろしくお願いいたします。